

Combustion-IC-System



ハンドブック – クイックスタートガイド
8.920.8003JP / 2018-08-31



Metrohm AG
CH-9100 Herisau
Switzerland
+41 71 353 85 85
info@metrohm.com
www.metrohm.com

Combustion-IC-System

ハンドブック – クイックスタートガイド

本文書は、著作権法で保護されています。本文書の無断複写・転載を禁じます。

本文書は、最大限の注意を払って作成されています。それでも、誤りが含まれている場合があります。これに関して指摘がある場合は、上記の宛先までご連絡ください。

免責条項

不適切な保管または使用などに起因する故障に対し、メトロームは一切の保証の責任を負わないものとします。使用者側による製品の変更(改造や拡張など)の場合も、それに起因する損傷や結果においてメーカーはいかなる責任も負いません。メトロームによる製品文書の取扱説明書および注意には厳密に従ってください。そうでない場合、メトロームはいかなる責任も負わないものとします。

目次

| | | |
|-------|--------------------------------------|----|
| 1 | このクイックスタートガイドについて | 1 |
| 2 | 導入 | 2 |
| 2.1 | 燃焼法 IC システム | 2 |
| 2.1.1 | 概要 | 2 |
| 2.1.2 | システムの説明 | 3 |
| 2.1.3 | 測定の手順 | 3 |
| 2.2 | 使用目的 | 5 |
| 2.3 | 安全に関する注意事項 | 5 |
| 2.3.1 | 安全についての一般事項 | 5 |
| 2.3.2 | 電気取扱いに関する安全性 | 5 |
| 2.3.3 | チューブ/キャピラリー接続部 | 6 |
| 2.3.4 | 可燃性溶媒および薬液 | 7 |
| 2.3.5 | リサイクルと廃棄 | 7 |
| 3 | 取り付け | 8 |
| 3.1 | 概要 | 8 |
| 3.2 | 超純水用 Dosino | 11 |
| 3.2.1 | ポートの接続 - 概要 | 11 |
| 3.3 | 吸収用溶液用 Dosino | 12 |
| 3.3.1 | ポートの接続 - 概要 | 12 |
| 3.4 | 10 ポートバルブ | 13 |
| 3.4.1 | ポートの接続 | 13 |
| 3.5 | 6 ポートバルブ | 14 |
| 3.5.1 | ポートの接続 | 14 |
| 3.6 | 920 Absorber Module をその他のコンポーネントと接続 | 15 |
| 3.6.1 | Combustion Module (AJ) 入口の接続: 水の供給 | 16 |
| 3.6.2 | Combustion Module (AJ) 出口への接続: 吸収用溶液 | 18 |
| 3.6.3 | Combustion Oven (TEI) 入口の接続 | 20 |
| 3.6.4 | Combustion Oven (TEI) 出口の接続 | 21 |
| 3.6.5 | 930 Compact IC Flex の接続 | 21 |
| 3.7 | LPG/GSS Module の接続 | 23 |
| 4 | 初回セットアップ | 25 |
| | 索引 | 28 |



図表目録

| | | |
|------|----------------------------------|----|
| 図 1 | 検出可能な元素 | 2 |
| 図 2 | 概要 - CIC システム | 3 |
| 図 3 | 測定の手順 | 4 |
| 図 4 | 使用されるキャピラリーとチューブ - 概要 | 9 |
| 図 5 | 超純水用 Dosino の接続 | 11 |
| 図 6 | 吸収用溶液用の Dosino の接続 | 12 |
| 図 7 | 10 ポートバルブの接続 | 13 |
| 図 8 | 6 ポートバルブの接続 | 14 |
| 図 9 | 燃焼チューブ - 入口 | 17 |
| 図 10 | 燃焼チューブ - 出口 | 18 |
| 図 11 | 燃焼チューブ - 入口 | 20 |
| 図 12 | Combustion Oven (TEI) - 出口 | 21 |

1 このクイックスタートガイドについて

このクイックリファレンスガイドには、燃焼法 IC システムに関する重要な情報が含まれています。導入と安全に関する注意事項のほか、燃焼法 IC システムの説明、920 Absorber Module、およびその Combustion-IC-System とのインターフェースの取り付けについての情報をご覧ください。920 Absorber Module に関する詳細なハンドブックは、インターネットから PDF ファイル形式でダウンロードすることができます (<https://www.metrohm.com>)。

2.1.2 システムの説明

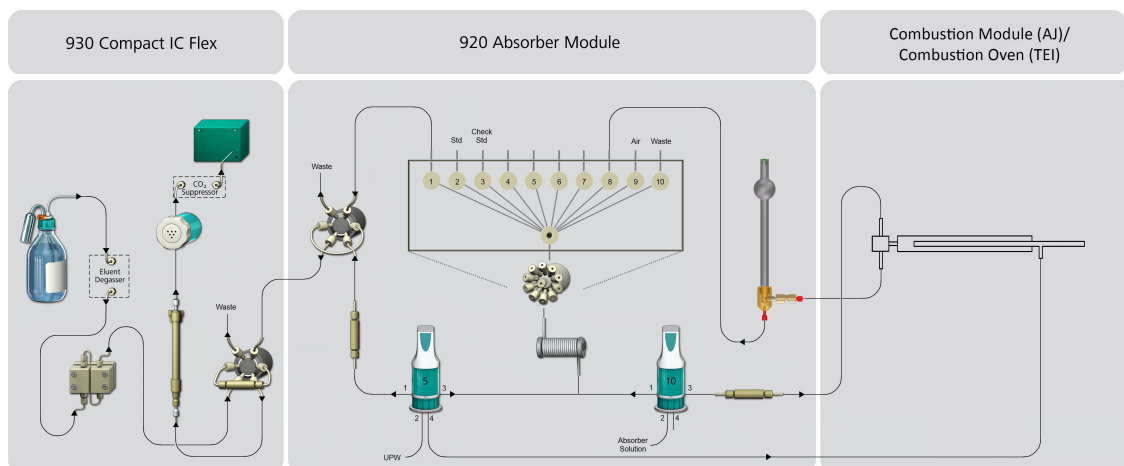


図2 概要 - CIC システム

サンプルの燃焼は、Combustion Module (AJ)/ Combustion Oven (TEI) にて行われます。

燃焼中に発生するガスは 920 Absorber Module にて吸収用溶液に溶解され、適したサンプル前処理技術によって分析のために最適化されます。

最後に吸収液はイオンクロマトグラフにて濃縮され、分析されます。

プロセス全体はソフトウェア MagIC Net にて制御されモニタリングされます。分析データはソフトウェアのデータベースに保存されます。

2.1.3 測定の手順

燃焼法 IC システムでは、測定は以下の図式に従って行われます：

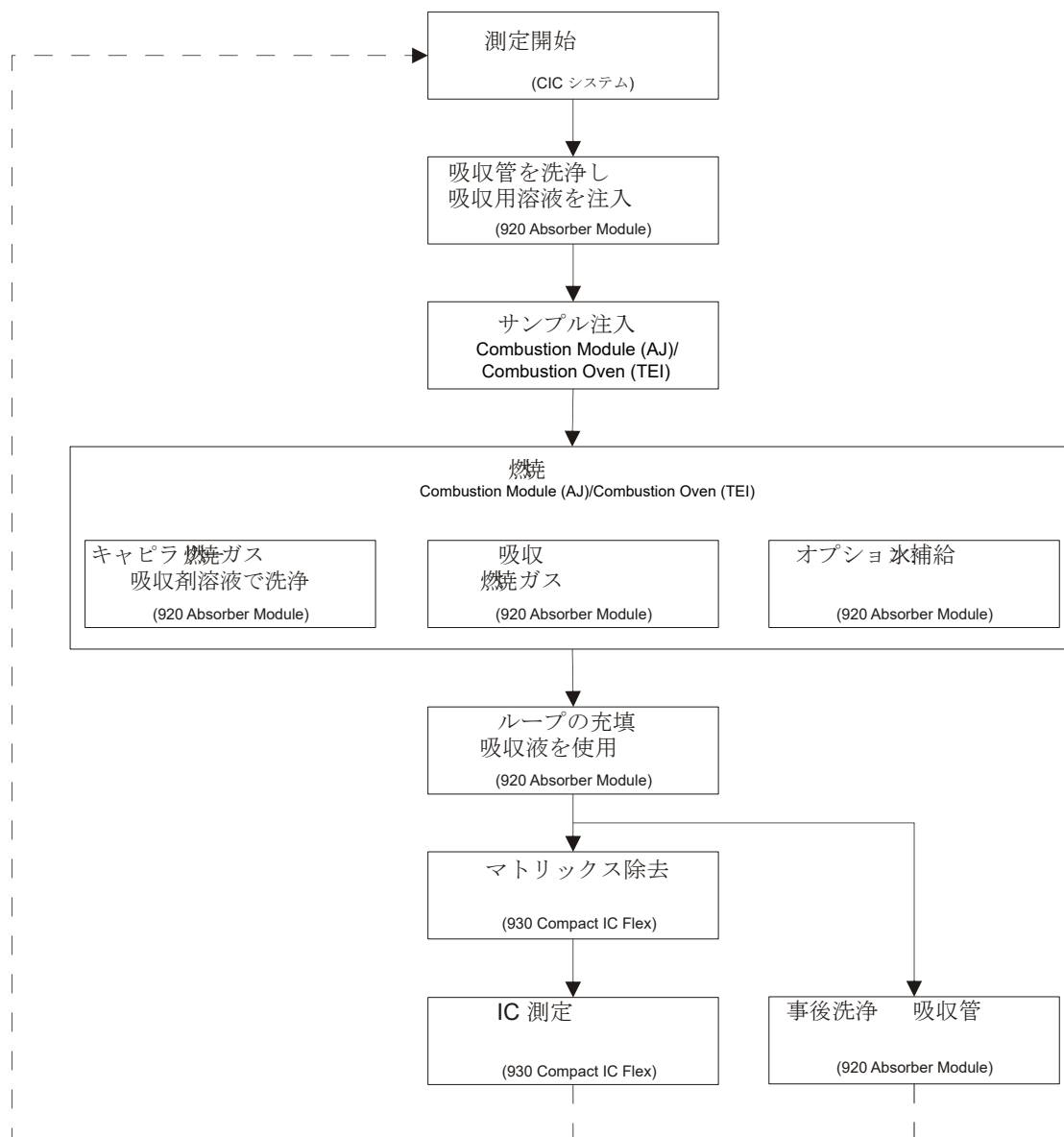


図3 測定の手順



注記

混同注意！

- 吸収用溶液: たとえば硫黄酸化物の酸化のための H_2O_2 溶液など。
- 吸収液: 吸収用溶液に溶解した燃焼ガス。

測定は MagIC Net によって完全に制御されます。手順に関する説明の詳細は、MagIC Net のオンラインヘルプのタイトル「燃焼の手順」にてご覧いただけます。

2.2 使用目的

本システムは、薬液や可燃性サンプルの処理に適しています。そのため燃焼法 IC システムの使用には、毒物および劇物の取扱いに関して基本的な知識および経験を有していることがユーザーに求められます。また、実験室で規定されている防火対策に関する十分な知識が必要です。

2.3 安全に関する注意事項

2.3.1 安全についての一般事項



警告

本装置は、必ずこの文書の記載に従って操作してください。

この装置は安全技術上の欠陥の無い状態で工場から出荷されました。この状態を保持し、安全に操作するために以下の説明をよくお読みください。

2.3.2 電気取扱いに関する安全性

本装置の取扱いは、国際安全規格 IEC 61010 に準拠しているため、電気取扱いに関する安全性が保証されています。



警告

Metrohm によって資格を付与されている技師のみ、電子部品のサービス作業を行うことが許可されています。



警告

装置のハウジングは、絶対に開かないでください。ハウジングが損傷する恐れがあります。さらに、電流が流れている部品に触れると怪我をする危険性があります。

ハウジングの内側に、ユーザーが整備または交換することのできる部品はありません。

配電電圧



警告

不適切な配電電圧は、装置の故障に繋がります。
装置は、必ず規定の配電電圧(装置背面を参照)で操作してください。

帯電防止



警告

電子部品は、帯電に非常に敏感で放電により故障するおそれがあります。
装置背面に電気系統の接続を行ったり、外したりする前に、必ず電源コードを電源ソケットから外してください。

2.3.3 チューブ／キャピラリー接続部



注意

チューブ／キャピラリー接続部からの漏れは、安全性を損ないません。すべての接続部を手でしっかりと締め付けてください。チューブ接続部に過剰な力を加えないでください。チューブ端部の損傷は、漏れの原因になります。接続部を緩める際は、適切な工具を使用してください。

接続部に漏れが生じていないか定期的に点検してください。装置を主に自動運転させる場合は、毎週チェックを行ってください。

2.3.4 可燃性溶媒および薬液

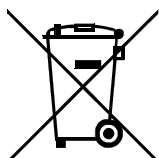


警告

可燃性溶媒および薬液を取り扱う際は、関連する安全対策に従ってください。

- 装置は、通気性のよい場所(ドラフト チャンバーなど)に設置してください。
- 引火する原因になるものを作業場に持ち込まないでください。
- 液体がこぼれたり固形物が落下したりした場合は、早急に除去してください。
- 薬液メーカーの安全に関する注意事項に従ってください。

2.3.5 リサイクルと廃棄



本製品は、EU 指令 2012/19/EU、WEEE – 電気・電子装置廃棄物に準拠しています。

使用済みの装置を適切に廃棄することにより、環境や健康へ及ぼす悪影響を防止することができます。

使用済みの装置の廃棄に関する詳細については、管轄の地方自治体、廃棄物回収業者、またはディーラーにお問い合わせください。

| | |
|---|--|
| <p>9 Combustion Module (AJ): PTFE 製キャピラリー 内径 0.5 mm / 3 m (6.1803.030) Combustion Oven (TEI): PTFE 製キャピラリー 内径 0.8 mm / 2.5 m (吸収用溶液キャピラリー) トラップカラム Metrosep A Trap 1 - 100/4.0 (6.1014.000) と Combustion Module (AJ)/Combustion Oven (TEI) の接続。</p> | <p>10 PTFE 製 キャピラリー 内径 0.5 mm / 3 m (6.1803.030) そのうち約 20 cm。吸収用溶液入り Dosino とトラップカラム Metrosep A Trap 1 - 100/4.0 (6.1014.000) 間の接続。</p> |
| <p>11 920 のための FEP チューブ M6 150 cm (6.1805.030) FEP 吸引チューブ (6.1819.100) 吸収用溶液用の吸引チューブ。吸収用溶液入り Dosino と吸収用溶液入りボトル間の接続。</p> | <p>12 920 のための FEP チューブ M6 13 cm (6.1805.010) 吸収用溶液入り Dosino と T 字コネクタ一間の接続。</p> |
| <p>13 920 のための FEP チューブ M6 13 cm (6.1805.010) 超純水入り Dosino と T 字コネクタ一間の接続。</p> | <p>14 Combustion Module (AJ): PTFE 製キャピラリー 内径 0.5 mm / 3 m (6.1803.030) Combustion Oven (TEI): PTFE 製キャピラリー 内径 0.8 mm / 2.5 m (6.07311.310) 超純水入り Dosino と Combustion Module (AJ)/Combustion Oven (TEI) の接続。</p> |
| <p>15 920 のための FEP チューブ M6 150 cm (6.1805.030) FEP 吸引チューブ (6.1819.100) 超純水用の吸引チューブ。Dosino と水ボトル間の接続。</p> | <p>16 PTFE 製 キャピラリー 内径 0.5 mm / 3 m (6.1803.030) そのうち約 30 cm。超純水入り Dosino とトラップカラム Metrosep I Trap 1 - 100/4.0 (6.1014.200) 間の接続。</p> |
| <p>17 PTFE 製 キャピラリー 内径 0.5 mm / 3 m (6.1803.030) そのうち約 40 cm。トラップカラム Metrosep I Trap 1 - 100/4.0 (6.1014.200) と 6 ポートバルブ間の接続。</p> | <p>18 PTFE 製 キャピラリー 内径 0.5 mm / 3 m (6.1803.030) 6 ポートバルブと 930 Compact IC Flex 間の接続。</p> |

着色識別スリーブ

920 Absorber Module では様々な液体が移動します。様々な流路の外観を把握できるよう、個々の液体が通過するキャピラリーを同梱の着色識別スリーブで以下のようにコーディングすることが推奨されます：

テーブル1 推奨される流路のカラーコード

| 液体 | 着色識別スリーブ |
|-------|----------|
| 超純水 | 青 |
| 吸収用溶液 | 黄 |
| 標準液 | 黒 |

| 液体 | 着色識別スリーブ |
|------|----------|
| 検査基準 | 赤 |
| 廃液 | 白 |



注記

着色識別スリーブは収縮チューブであるため、熱の影響を受けると収縮します。

着色識別スリーブをキャピラリー上に押し、ドライヤーで温めるなどの方法で希望する位置に固定してください。

3.2 超純水用 Dosino

3.2.1 ポートの接続 - 概要

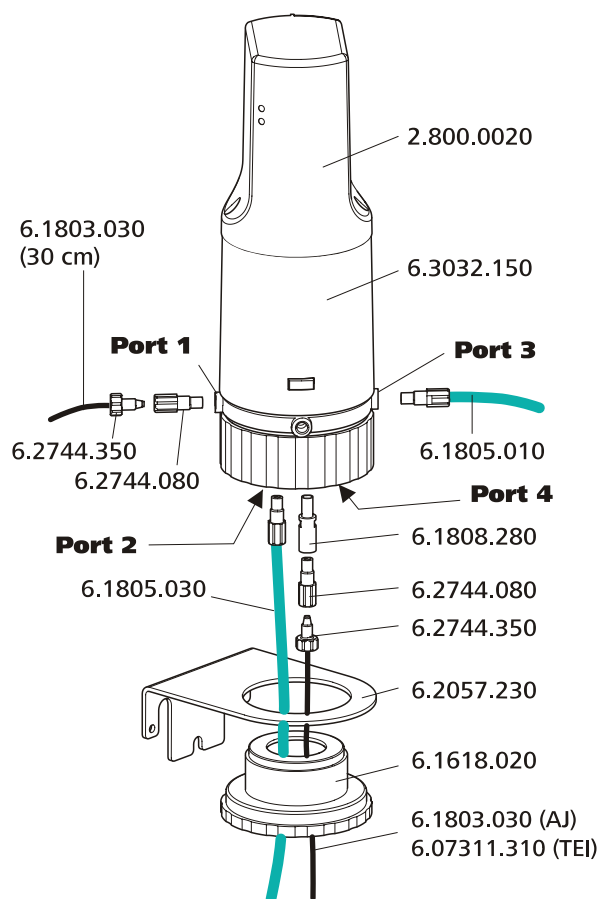


図5 超純水用 Dosino の接続



次のステップ

| キャピラリーチューブのポート番号 | 接続先 |
|------------------|--|
| 1 | トラップカラム Metrosep I Trap 1 - 100/4.0 (6.1014.200) の入口 |
| 2 | 水ボトル |
| 3 | T字コネクタ (6.1808.060) |
| 4 | 燃焼オープン入口 (16 ページ, 3.6.1 章を参照) |

取り扱いに関する詳細は 920 Absorber Module のハンドブックにてご覧いただけます。

3.3 吸収用溶液用 Dosino

3.3.1 ポートの接続 - 概要

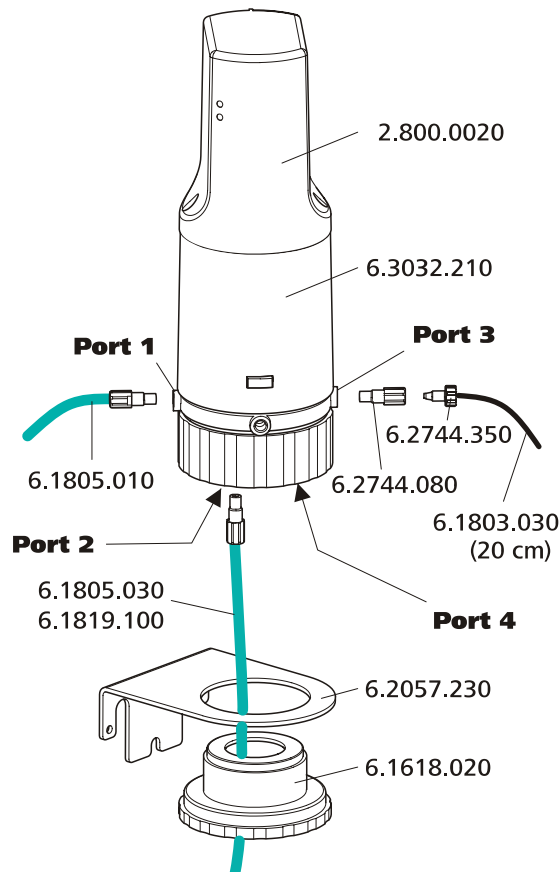


図6 吸収用溶液用の Dosino の接続

次のステップ

| キャピラリーチューブのポート番号 | 接続先 |
|------------------|--------------------|
| 1 | T字コネクタ(6.1808.060) |

| キャピラリー チューブ のポート番号 | 接続先 |
|--------------------------|------------------------------------|
| 2 | 吸収用溶液入りボトル |
| 3 | Metrosep A Trap 1 – 100/4.0 の入口の接続 |

取り扱いに関する詳細は 920 Absorber Module のハンドブックにてご覧いただけます。

3.4 10 ポートバルブ

3.4.1 ポートの接続

10 ポートバルブには、使用されているあらゆる液体用の移送チューブおよびキャピラリーが接続されます。

10 ポートバルブの接続

以下の図にしたがって 10 ポートバルブのポートを接続します。



注記

まず初めに中央ポートの接続を行うことをお勧めします。

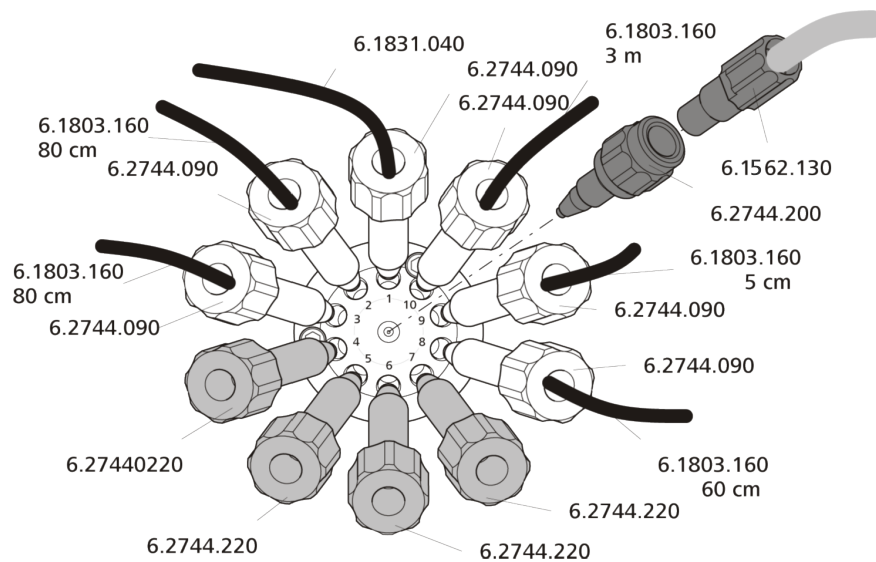


図7 10 ポートバルブの接続



次のステップ

| 接続する | 接続先 |
|-----------------------------|----------------------------|
| キャピラリー / チューブの ポート | |
| 1 | 6ポートバルブ (14 ページ, 3.5 章を参照) |
| 2 | 標準液ボトル |
| 3 | チェック標準液ボトル |
| 8 | 吸収チューブ |
| 10 | 廃液容器 |

詳細な説明は、920 Absorber Module のハンドブックで確認することができます。

3.5 6ポートバルブ

3.5.1 ポートの接続

6ポートバルブの接続

以下の図にしたがって6ポートバルブのポートを接続します。

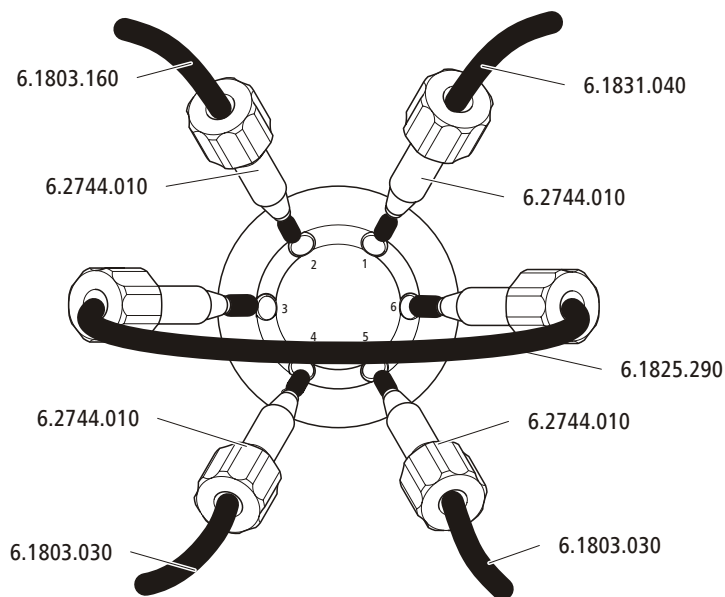


図8 6ポートバルブの接続

次のステップ

| 接続する | 接続先 |
|-----------------------------|--|
| キャピラリー / チューブの ポート | |
| 2 | 廃液容器 |
| 4 | 930 Compact IC Flex (21 ページ, 3.6.5 章を参照) |
| 5 | Metrosep I Trap1 - 100/4.0 (6.1014.200) |

詳細な説明は、920 Absorber Module のハンドブックで確認することができます。

3.6 920 Absorber Module をその他のコンポーネントと接続

Combustion Module (AJ)

Combustion-IC-System の右側からはキャピラリーが三本引き出されています。

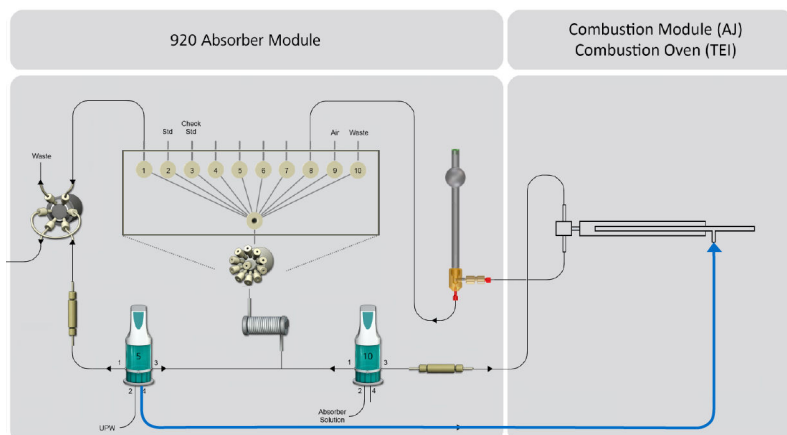
- 超純水用 Dosino のポート 4 に接続したキャピラリーは、青い着色識別スリーブでマーキングされています。
- Metrosep A Trap 1 - 100/4.0 の出口に接続したキャピラリーは、黄色の着色識別スリーブでマーキングされています。
- 吸尿管入口に装着された厚手のキャピラリーは、扉の下部から引き出されています。

Combustion Oven (TEI)

Combustion Oven (TEI) の背面および/または左側からはキャピラリーが三本引き出されています。

- 超純水用 Dosino のポート 4 に接続したキャピラリーは、青い着色識別スリーブでマーキングされています。キャピラリーは 6.07311.310 のパーツです。キャピラリーのもう一方の端部はすでに接続されています。
- Metrosep A Trap 1 - 100/4.0 の出口に接続したキャピラリーは、黄色の着色識別スリーブでマーキングされています。キャピラリーのもう一方の端部はオープン出口にすでに接続されています。
- 吸尿管入口に装着された厚手のキャピラリーは、背面から引き出されています。キャピラリーのもう一方の端部はオープン出口にすでに接続されています。

3.6.1 Combustion Module (AJ) 入口の接続: 水の供給



水の供給のためのキャピラリーを燃焼チューブ入口に接続

1 キャピラリーを **Combustion Module (AJ)** に挿入

青い着色識別スリーブ付きキャピラリーを Combustion Module (AJ) 左側面パネル上部の円形開口部を通して内部に挿入し、Combustion Module の右側面へ通します (『Combustion Module 取扱説明書』の「輸送または保管後の Combustion Module の設置」の章を参照)。

2 キャピラリーの短縮

キャピラリーをキャピラリーカッターで、余裕をもって燃焼チューブ入口に接続できる長さに切断します。

3 キャピラリーの接続

燃焼チューブ入口には3つのコネクタがあります：

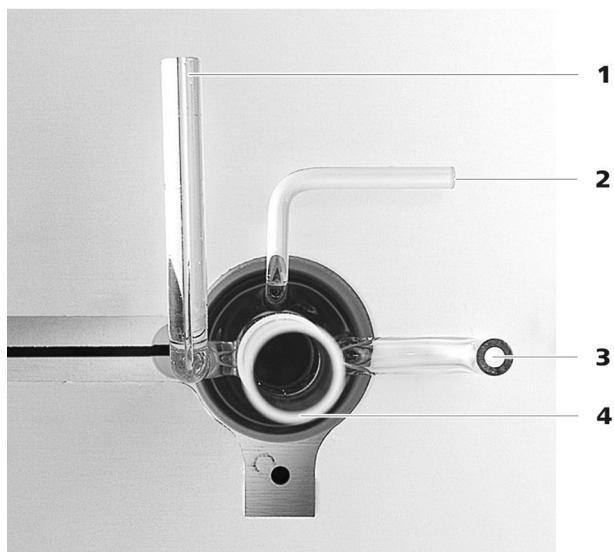


図9 燃焼チューブ- 入口

1 水供給の入口
青い着色識別スリーブ付きキャピラリー用コネクタ (4-14)。

2 コネクタ 火炎センサー
火炎センサー用コネクタ。

3 酸素供給
酸素供給用コネクタ。

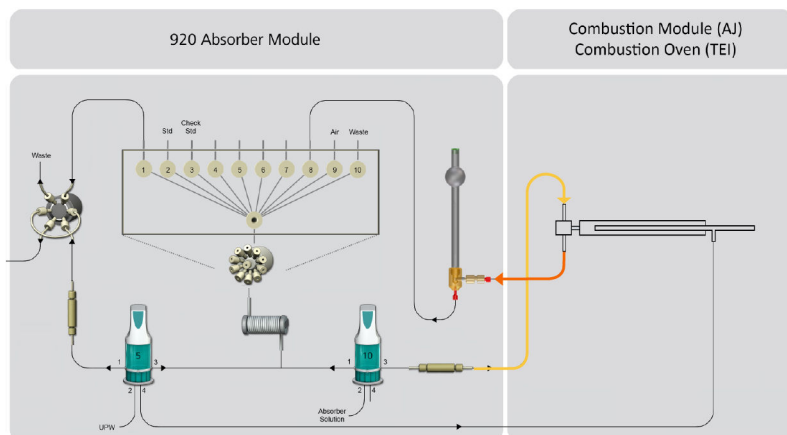
4 サンプル入口
固体および液体サンプル: サンプルポート用入口。
気体サンプル: LPG/GSS モジュールのコネクタ。

- キャピラリーを FAST コネクタに挿入します (「Combustion Module 取扱説明書」の「チューブ接続部の交換」の章を参照)。
- FAST コネクタを注意深くコネクタ (9-1) に挿入します。

火炎センサー、酸素供給、ならびに Auto Boat Drive (ABD) の接続に関する情報は Combustion Module (AJ) 取扱説明書にてご覧いただけます。



3.6.2 Combustion Module (AJ) 出口への接続: 吸収用溶液



黄色の着色識別スリーブのキャピラリーと厚手のキャピラリーは、Combustion Module (AJ) の T 字コネクタ CIC に接続されます。

Combustion Module (AJ) の T 字コネクタ CIC には 2 つのコネクタがあります：

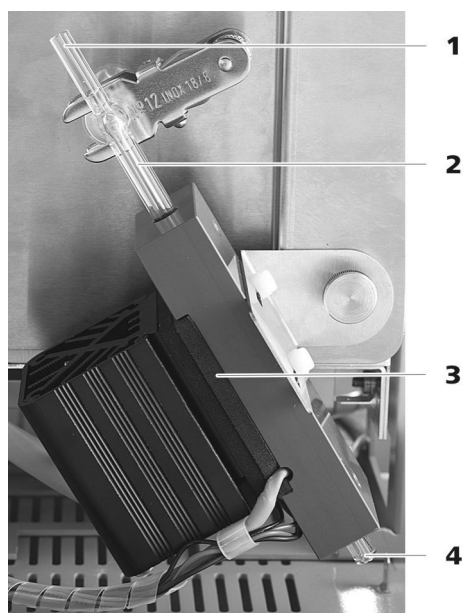


図 10 燃焼チューブ - 出口

- | | |
|--|---|
| <p>1 コネクタ 吸収用溶液 黄色の着色識別スリーブ付きキャピラリー用コネクタ (4-9)。</p> | <p>2 T 字コネクタ CIC (6.7301.210) 燃焼チューブ出口の T 字コネクタ。吸収用溶液供給と燃焼ガス排気のため。</p> |
| <p>3 ペルチェ冷却エレメント 燃焼チューブ出口で燃焼ガスを冷却するため。</p> | <p>4 燃焼ガスのコネクタ PTFE 製キャピラリー用コネクタ 1/8 / 内径 1/16 / 1.5 m (6.1803.130) (4-8)。</p> |

燃焼ガス用キャピラリーの接続

1 キャピラリーを Combustion Module (AJ) に挿入

- PTFE 製キャピラリー 1/8 / 内径 1/16 / 1.5 m (6.1803.130) (4-8) の空いている端部を 920 Absorber Module の右側の扉の窪みを通してスライドさせます。
- キャピラリーを Combustion Modules (AJ) 底面の円形の開口部を通して内部に挿入します。

2 キャピラリーの短縮

キャピラリーをキャピラリーカッターで、余裕をもって T 字コネクタ CIC 出口 (10-4) に接続できる長さに切断します。

3 キャピラリーの接続

- キャピラリーを屈曲した FAST コネクタ (6.7304.000) に差し込みます。
- FAST コネクタを注意深く T 字コネクタ CIC 出口 (10-4) に挿入します。

吸収用溶液用キャピラリーの接続

1 キャピラリーを Combustion Module (AJ) に挿入

黄色の着色識別スリーブ付きキャピラリーの空いている端部を Combustion Modules (AJ) の上部左側面の円形の開口部を通して内部に挿入します。

2 キャピラリーの短縮

キャピラリーをキャピラリーカッターで、余裕をもって T 字コネクタ CIC 出口 (10-1) に接続できる長さに切断します。

3 キャピラリーの接続

- キャピラリーをまっすぐな FAST コネクタ (6.7304.010) に挿入します (「Combustion Module 取扱説明書」の「チューブ接続部の交換」の章を参照)。
- FAST コネクタを注意深く T 字コネクタ CIC 出口 (10-1) に挿入します。



3.6.3 Combustion Oven (TEI) 入口の接続

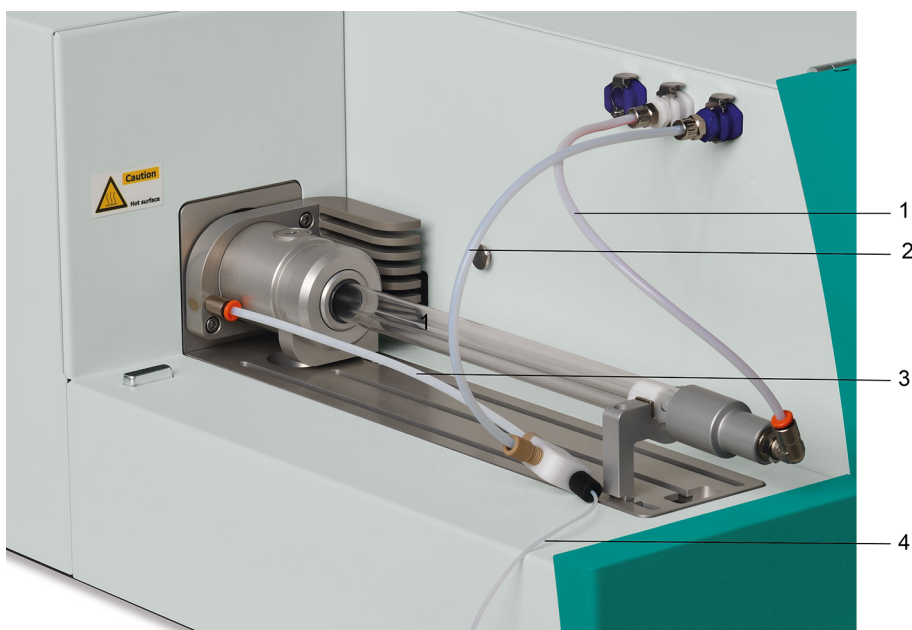
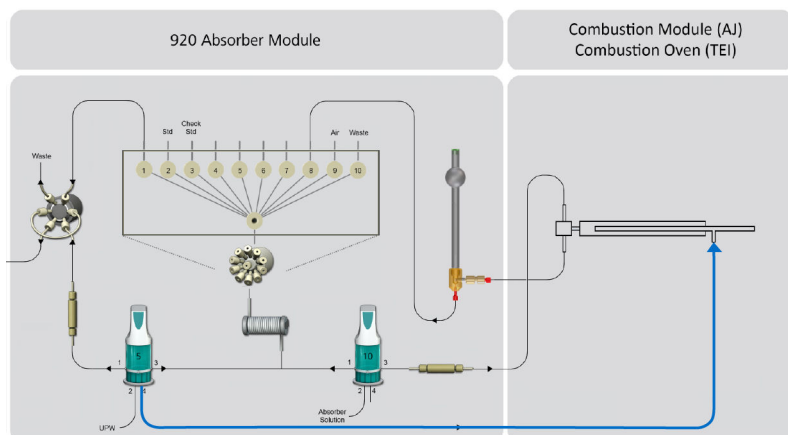


図11 燃焼チューブ-入口

- | | |
|--|---|
| <p>1 アルゴン供給 アルゴン供給のための接続。</p> | <p>2 酸素供給 酸素供給のための接続。</p> |
| <p>3 酸素供給 酸素供給のための接続。</p> | <p>4 水供給の入口 超純水供給のための接続。</p> |

3.6.4 Combustion Oven (TEI) 出口の接続

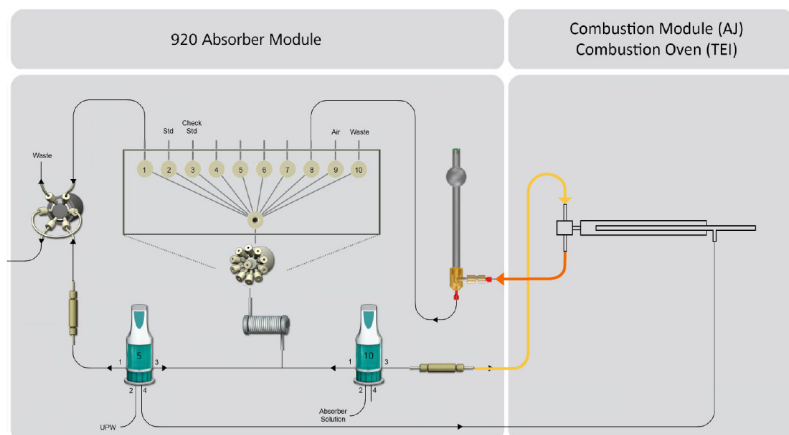


図12 Combustion Oven (TEI) - 出口

1 キャピラリー 吸収用溶液
チューブ出口における吸収用溶液供給用のキャピラリー。

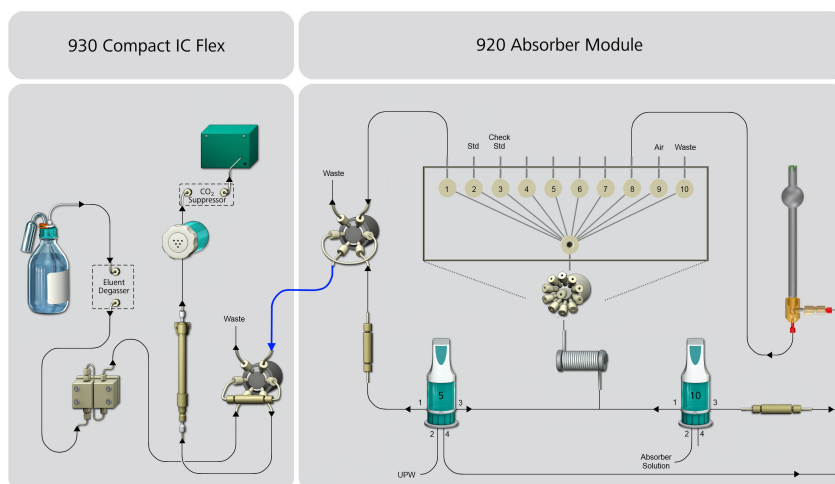
2 キャピラリー 燃焼ガス
燃焼ガスをチューブ出口から吸収管へ移送するためのキャピラリー。

3.6.5 930 Compact IC Flex の接続

Combustion Module (AJ): 920 Absorber Module の左側からキャピラリーが出ています。

Combustion Oven (TEI): 920 Absorber Module の右側からキャピラリーが出ています。

このキャピラリーは、930 Compact IC Flex の注入バルブに接続します。



付属品

この作業に必要なツール：

- キャピラリーカッター (6.2621.080)

930 Compact IC Flex の接続

- キャピラリー端部を、余裕をもって 930 Compact IC Flex の注入バルブに接続できる長さにキャピラリーカッターで切断します。
 - キャピラリー端部を注入バルブのポート 1 に接続します (930 Compact IC Flex のハンドブックを参照)。



注記

各装置のコンピューターと電源への接続については、個々のハンドブックにおいて説明されています：

- 930 Compact IC Flex ハンドブック。
- 920 Absorber Module ハンドブック。
- Combustion Module (AJ) 取扱説明書 (添付の CD に収録)。
- Autosampler MMS 5000 (AJ) 取扱説明書 (添付の CD に収録)。
- ハンドブック LPG/GSS (AJ) Module (添付の CD に収録)。
- Combustion Oven (TEI) ハンドブック (添付の USB スティックに収録)。
- Liquid Autosampler CIC (TEI) ハンドブック (添付の USB スティックに収録)
- Solid Autosampler CIC (TEI) ハンドブック (添付の USB スティックに収録)。
- GLS Sampler CIC (TEI) ハンドブック (添付の USB スティックに収録)。

3.7 LPG/GSS Module の接続

LPG/GSS Module は、気体サンプルを Combustion Module に給送するために用いられます。

LPG/GSS Module は、2 つの方法で Combustion Module に接続することができます。

- ABD に接続
LPG/GSS Module ハンドブックを参照してください。
- 燃焼チューブの入口側に直接接続

LPG/GSS Module の燃焼チューブへの接続

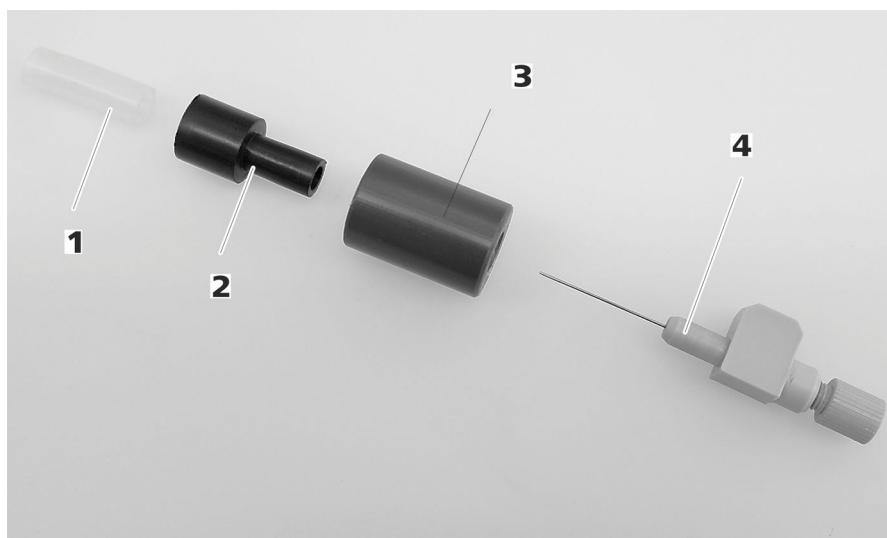
事前準備

- Combustion Module と LPG/GSS Module のスイッチをオフにします。

付属品

- LPG/GSS 用オープンカップリング(6.730.4030)

- 1 アダプターの各構成部品を分解します。



1 保護スリーブ

2 FAST コネクター

3 プラスチックスリーブ

4 注入ニードル

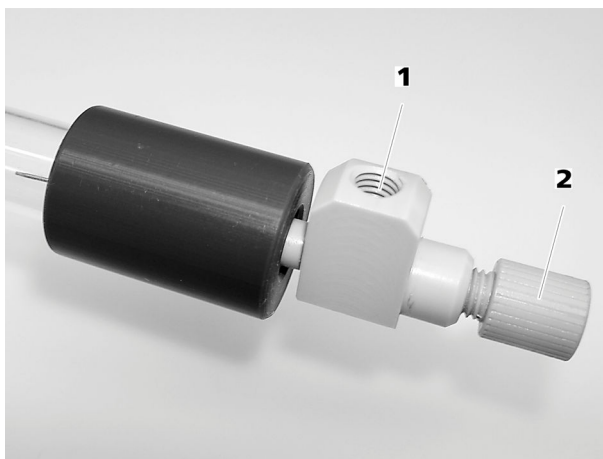
- 2 FAST コネクターを燃焼チューブの入口側に取り付けます。



3 プラスチックスリーブを FAST コネクターに取り付けます。



4 注入ニードルを FAST コネクターに差し込みます。



1 アルゴン用コネクター

2 サンプル用コネクター

5 アルゴン供給チューブを入口 1 に取り付けます。

6 サンプル給送チューブを入口 2 に取り付けます。

4 初回セットアップ

920 Absorber Module を作動開始できるようにする前に、燃焼法 IC システムの全てのコンポーネントが完全に取り付けられていなければなりません: すなわち、

- Auto Boat Drive (ABD)、オプションとしてのサンプラー (MMS 5000)、および場合によっては LPG/GSS Module を含む Combustion Module が Analytik Jena/TEI 社による燃焼法 IC 取扱説明書の記載内容に従って取り付けられていること。
- 場合によって Trace Elemental Instruments 社による既存の Liquid Autosampler CIC、Solid Autosampler CIC、GLS Autosampler CIC のいずれか、あるいは複数を含む Combustion Oven が取扱説明書に従って取り付けられていること
- 920 Absorber Module が 920 Absorber Module のハンドブックの記載内容に従って取り付けられており、Combustion Module (AJ)/ Combustion Oven (TEI) に接続されていること。
- 930 Compact IC Flex (2.930.2560) がイオンクロマトグラフのハンドブックの記載内容に従って取り付けられており、920 Absorber Module と接続されていること。
- イオンクロマトグラフが、ソフトウェア MagIC Net と TEIS のインストールされたコンピューターと接続していること。TEIS は、Combustion Oven (TEI) においてのみ必要とされます。

燃焼法 IC システム (AJ) の初回セットアップ

1 ソフトウェアの起動

- コンピューターを立ち上げ、ソフトウェア MagIC Net を起動します。
- ユーザー名およびパスワードを入力します。

ソフトウェアを起動し、プログラムセクション **ワークスペース** を表示します。

2 装置をオンにする

- Combustion Module (AJ) をオンにする: Combustion Module (AJ)、ならびに場合によっては MMS 5000 (AJ) または LPG/GSS Module (AJ) をオンにします。
- Combustion-IC-System をオンにします。
- イオンクロマトグラフをオンにします。
MagIC Net はすべての装置を検出し、それらを装置の表に保存すべきかどうかを照会します。
- すべての照会は**[はい]**で確定します。



注記

装置が既存のシステムに新たに接続された場合、それが自動で検出されない場合があります。

装置が自動で検出されなかった場合、MagIC Net にて「基本初期化」が実行されなければなりません。基本初期化に関する情報は、MagIC Net オンラインヘルプ、または MagIC Net ハンドブックをご参照ください。

3 メソッドの読み込み

ワークプレイス ▶ 分析

- タブ **平衡状態** を有効化します。
- フィールド **メソッド** にてメソッド **燃焼法 IC の準備** を読み込みます。

4 平衡状態の開始

- 平衡状態を **[機器開始]** で開始します。

平衡状態が終了するとすぐに、装置は測定準備が整った状態になります。

燃焼法 IC システム (TEI) の初回セットアップ

1 ソフトウェアの起動

- コンピューターを立ち上げ、ソフトウェア MagIC Net および TEIS を起動します。
- ユーザー名およびパスワードを両ソフトウェアをに入力します。

MagIC Net: ソフトウェアを起動し、プログラムセクション **ワークプレイス** を表示します。

TEIS: ソフトウェアを起動し、プログラムセクション **タスクマネージャー** を表示します。

2 装置をオンにする

- Combustion Oven (TEI) ならびに場合によっては Liquid Autosampler CIC (TEI)、Solid Autosampler CIC (TEI) または GLS Sampler CIC (TEI) をオンにします。

- イオンクロマトグラフと 920 Absorber Module をオンにします。
MagIC Net は両装置を検出し、それらを装置の表に保存すべきかどうかを照会します。
- すべての照会は[はい]で確定します。

3 メソッドの MagIC Net への読み込み

ワークスペース ▶ 分析

- タブ **平衡状態** を有効化します。
- フィールド **メソッド** にてメソッド **燃焼法 IC の準備** を読み込みます。

4 イオンクロマトグラフの平衡状態の開始

- 平衡状態を **[機器開始]** で開始します。

平衡状態が終了するとすぐに、IC 装置は測定準備が整った状態になります。

- ### 5 Combustion Oven (TEI) ならびに場合によっては既存の Liquid Autosampler CIC (TEI)、Solid Autosampler CIC (TEI) または GLS Sampler CIC (TEI) の平衡状態を TEIS ソフトウェアにて開始します。

